

授業概要

博物館における情報・メディアの意義と活用方法、情報発信について理解し、博物館の情報の提供や活用等に関する基礎的能力を養うよう講義する。

また、先端技術に触れ、自らが利用することを通して、博物館の現場でそれがどのように展開され、かつ進歩・発展していくか、体験的に学んでいくよう指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス メディアとしての博物館
第 2 回	博物館における情報とメディアの基礎
第 3 回	博物館における情報発信
第 4 回	博物館教育と情報・メディア
第 5 回	資料のドキュメンテーションとデータベース
第 6 回	資料のデジタル化とデジタルアーカイブ
第 7 回	博物館と知的財産
第 8 回	博物館におけるメディアリテラシー
第 9 回	ユニバーサル・ミュージアムと情報・メディア
第 10 回	博物館における情報・メディア活用例 ① 歴史民俗・考古系
第 11 回	博物館における情報・メディア活用例 ② 美術系
第 12 回	博物館における情報・メディア活用例 ③ 自然史・理工系
第 13 回	博物館における情報・メディア活用例 ④ 生物系
第 14 回	先端技術による文化財の活用
第 15 回	総括
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・博物館における情報・メディアの基礎を理解し、デジタル技術の知識を身に付け活用することができる。
- ・博物館から情報発信することができる。

履修上の注意

遅刻・欠席をしない。授業時には積極的な発言を求める。
博物館概論の知識を身につけておくことが望ましい。

予習・復習

各自で実際にパソコンや携帯アプリで博物館における情報・メディア活用の取り組みを体験すること。

評価方法

学期末試験 80%、受講態度 20%。

テキスト

教科書は特に使用しない。授業内に参考文献をあげ、適宜資料を配布する。